

## VOC排出抑制のための自主的取組参加企業の 拡充に向けた考え方について

平成25年4月12日

### 1. これまでの参加企業拡充の取組

これまでの参加企業拡充のための取組については、以下のとおり関東経済産業局、中部経済産業局、近畿経済産業局、九州経済産業局や(一社)産業環境管理協会におけるVOC排出抑制に関する自主的取組の普及啓蒙活動を通じて、中小企業者を含む参加企業、団体の拡大や当省所管以外の業種の取込等が活発に行われてきた。

しかしながら、現状においても引き続き実施されているのは、近畿経済産業局と(財)関西環境管理技術センター(エマテック)が運用しているVOC近畿ネットの連絡会議と情報発信(メールマガジン・ネットマガジン)など限られている。

#### <各経済産業局における取組>

- ① 自治体、中小企業関連団体等による地域の支援者ネットワーク構築
- ② 普及啓発セミナーの実施
- ③ 自主的取組の認知度、排出管理の現状に関するアンケート
- ④ 現場アドバイザー派遣
- ⑤ 対策成功事例集の作成

#### <(一社)産業環境管理協会における取組>

- ① 業界団体未加盟の企業が自主的取組に参加し、排出量等を報告するための受け皿となるVOC自主的取組支援ボードの設置
- ② VOC排出抑制の手引きの作成
- ③ 取組事例データベースの作成

## 2. 更なる企業の参加の必要性

VOC排出に係る自主的取組を更に充実させていくためには、できるだけ多くの企業が参加していくことが必要である。これまで実施してきた各経済産業局や(一社)産業環境管理協会等の取組について、関係者・関係機関の協力を得ながら、夏までに評価、検証し、今後の参加企業拡大の方策について決定する。

その際、参加企業の拡大を求めるに当たって、自主的取組は地域や社会にとって評価される取組であること、また、自主的取組に参加すると、以下のようなコスト削減や作業環境の改善等のメリットが生じることを念頭に置きながら方策を検討すべきである。

### (1) コストメリット

参加企業が行っている取組を行うことで、使用量・購入量を減らすことができ、原材料費の削減に繋がる。廃溶剤など廃棄物の発生量も減り、廃棄物処理費を削減できる。

また、VOCを燃焼装置の燃料の一部として利用することにより、エネルギー費用の削減ができる。

### (2) 作業環境の改善

参加企業が行っている取組を行うことにより、作業場内に漏れるVOCが減り、従業員の健康保持に貢献できるとともに、作業環境の改善に繋がり、作業効率化が図られる。

### (3) 周辺環境の改善

参加企業が行っている取組を行うことにより、工場、作業場からのVOC排出量が減少し、地域住民の悪臭苦情の減少に結びつく。

### (4) 社会的評価の向上

環境対策に積極的な企業であることを社会にアピールできる。

## 3. 考えられる自主的なVOC排出抑制への参加企業の拡大方策（案）

以下の柱に沿って、実際のアウツプットを意識した具体的な方策にするよう検討する。

### (1) 各経済産業局への普及活動再開の検討

### (2) 業界団体における新規会員企業の増加の検討

### (3) 中小企業団体や地方自治体等への協力の検討

### (4) 本省による普及セミナー等の開催の検討